

# 戯曲「オムレツ・ハウス」

「第一話 芸能人のプロポーズ」 第五版

作・雨宮大智

# 「オムレツ・ハウス 第一話 芸能人のプロポーズ」

対象..中学生～大学生・一般向け

上演時間..二十分程度

## 登場人物

山谷 静	(四十六才、女性)	..レストランのオーナー
鳥丸 大吉	(四十二才、男性)	..コック長
富沢 よう子	(二十一才、女性)	..コック見習い
中川 大和	(二十五才、男性)	..ウェイター
加藤 やす男	(四十五才、男性)	..お笑い芸人
三川 すず	(二十八才、女性)	..加藤の恋人

舞台しかもてから、加藤と三川が入ってくる。

加藤 .. 今日は冷えるな。

三川 .. ようやく温かいものを食べれらるね。

美味しそうな匂いがする。

中川 .. いらっしゃいませ。どうぞ、こちへ。

二名さまご案内へ。

中川が加藤と三川を、舞台中央の席に案内する。

加藤 .. 何を頼もうか？

三川 .. わたし、ご飯物にしようかしら。

加藤 .. 僕は、そうだな……。

中川が舞台かみてのキッチンに入していく。

中川 .. 今のお客さま、どこかで見たことがあるなあ。

芸能人じゃないかな。

富沢 .. えー、どの方ですか。

【富沢がキッチンの入り口から、舞台中央をのぞく。】

富沢 .. あの人、「チップイン・バー」の加藤さんじゃないですか？

鳥丸 .. どれどれ。あ、そうだ。あれ加藤さんだよ。

中川 .. この町にも芸能人が来ることがあるんだねえ。  
お忍びかな?

加藤 .. すいません、注文お願いします。

中川 .. お、ちょっと行ってくる。

中川が舞台中央の客席へとオーダーをとりに入る。

中川 .. それでは、ご注文をどうぞ。

加藤 .. ボンゴレ・ロッソひとつ。

三川 .. 私はオムライスをお願いします。

中川 .. ご注文を復唱いたします。

ボンゴレ・ロッソひとつ、オムライスひとつですね。  
しばらくお待ち下さいませ。

中川が舞台かみてのキッチンへ入っていく。

中川 .. オーダー入りました。

ボンゴレ・ロッソひとつ、オムラスひとつ。

富沢 .. ありがとうございます。

加藤 .. 今度、僕の両親とも食事会をしてくれないかな?

君のことを両親に紹介したいんだ。

三川 .. わかったわ。今月末の日曜日はどうかしら。

加藤 .. ありがとう。これを受け取ってくれないか。

三川 .. これって……。綺麗な指輪じゃない。

加藤 .. 僕と結婚してほしいんだ。

三川 .. 私で良ければ……。

中川 .. 聞いたちゃつたよ。

富沢 .. どうしたんですか？

中川 .. 「チップイン・バーディ」の加藤さんが、プロポーズしたんだよ。

富沢 .. そして結果は？

鳥丸 .. どうなった？

中川 .. オーケーだったそうです。

富沢 .. シャンパン付けちゃおうかしら。

鳥丸 .. いいねえ。この間買ったのがあるな。

中川 .. さ、ちやつちゃと料理を作っちゃいましょう。

富沢と鳥丸が、調理をはじめむ。

三川 .. こんな素敵なお店でプロポーズされるなんて、夢みたい。

加藤 .. きっと気に入ってくれると思ったんだ。

料理も美味しいんだよ。

三川 .. うちの両親も、このお店なら気に入ってくれるかもしれないわ。

富沢 .. ボンゴレ・ロツソ、オムライス、あがりました。

中川 .. 相変わらず、手早いねえ。

では、運んできます。

鳥丸 .. これこれ。このシャンパンをつけてあげよう。

中川 .. 気が利きますねえ。

中川が舞台中央のホールに入つていく。

中川 .. お待たせいたしました。

ボンゴレ・ロツソと、オムライスになります。  
そして、このシャンパンはお店からです。  
ご結婚、おめでとうございます。

三川 .. わあ、嬉しい。ありがとうございます。

加藤 .. すまないね。思いがけないサプライズ、ありがとうございます。

中川 .. 今後とも、じひいきに。

舞台かみてから、山谷静オーナーが入つてくる。

山谷 .. 今日のお客さまの入りはどうかしら。

富沢 .. 山谷オーナー、お疲れ様です。

いま、お笑い芸人の「チップイン・バー・デイ」の加藤さんが来てるんですよ。

鳥丸 .. 彼女にプロポーズしたんですよ。

山谷 .. まあ、ホントに?

♪挨拶してこよつかしら。

中川が舞台中央からキッチンへと入つてくる。

中川 .. 山谷オーナー、お疲れ様です。

芸能人の加藤さんが来てるんですよ。

♪注文は、ボンゴレ・ロツソでした。

山谷 .. 今聞いたところよ。

プロポーズしたとか。

中川 .. そうなんですよ。

いやー、勇気がありますね。盛り上がる。

山谷 .. 挨拶をしてきましょ。

山谷がキッチンから舞台中央のホールへ入っていく。

山谷 .. こんばんは。

当レストラン、「オムレツ・ハウス」へよくおいで下さいました。

加藤 .. 絶品パスタを頂いております。

三川 .. オムライス、すごくおいしいです。

山谷 .. ありがとうございます。

ご結婚なされたとのこと。おめでとうございます。

加藤 .. 雰囲気のある、いいお店だから、プロポーズの場所に選んだんですよ。

山谷 .. ありがとうございます。

幸せな結婚生活になるといいですね。

三川 .. 私、すごく幸せです。

山谷 .. お一人に幸運が訪れますように。

それでは。

山谷が舞台かみてのキッチンへ入っていく。

山谷 .. プロポーズの場に選んでもらえて、私たちは幸せね。

鳥丸 .. これからも、みんなでいいお店にしていきましょう。

中川 .. いい料理といいお酒。あとは心をこめた「おもてなし」ですね。

富沢 .. わたし、調理をもっと頑張ります。

山谷 .. 幸せを運ぶコウノトリのような、そんなレストランになるといいわね。

中川 .. もう、なってますよ。

鳥丸 .. さあ、後片付け、後片付け！

山谷 .. みなさん、今日はお疲れ様でした！

(幕)